

CASBEE® 広島

■使用評価マニュアル：CASBEE 広島 2016年版

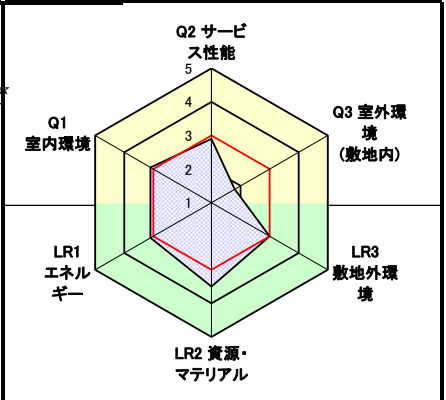
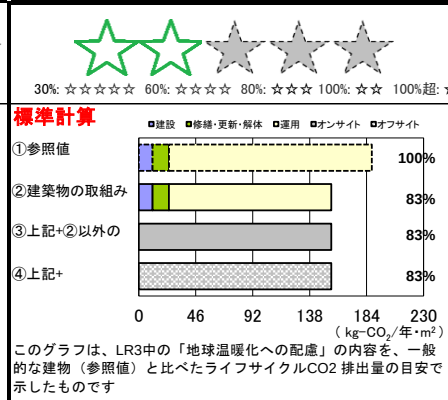
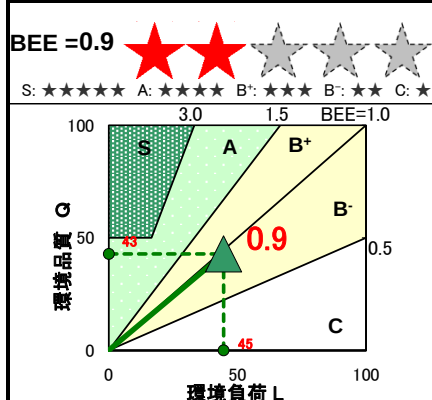
|使用評価ソフト: CASBEE-BD_NC_2016(v3.0)

■ 評価結果 ■

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)APAホテル(広島駅前)新築工	階数	地上14F
建設地	広島県広島市南区松原町 10-17	構造	S造
用途地域	商業地域、防火地域	平均居住人員	275 人
地域区分	6地域	年間使用時間	8,760 時間/年(想定値)
建物用途	ホテル	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2027年6月 予定	評価の実施日	2025年9月4日
敷地面積	449 m ²	作成者	日企設計
建築面積	344 m ²	確認日	2025年9月4日
延床面積	4,355 m ²	確認者	日企設計

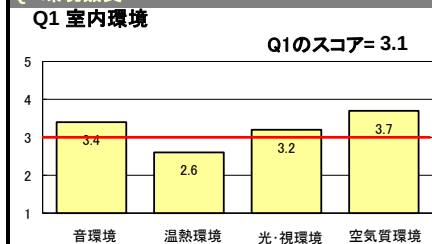


2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート) | 2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート) | 2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

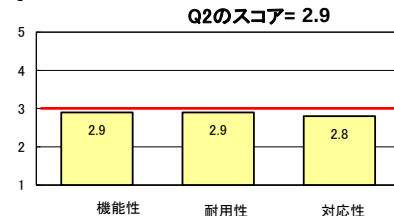


2-4 中項目の評価(バーチャート)

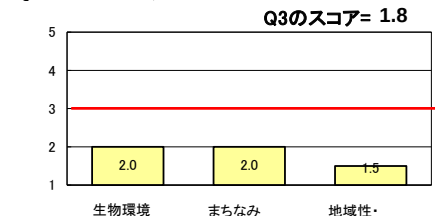
Q 環境品質



Q2 サービス性能

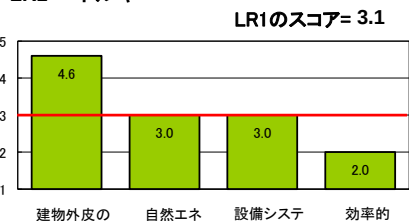


Q3 室外環境（敷地内）

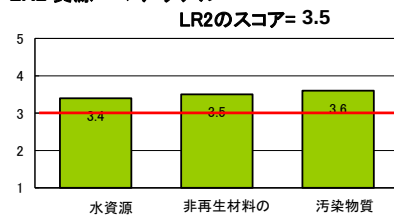


LR 環境負荷低減性

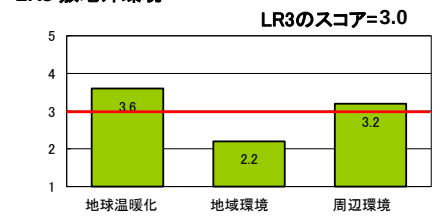
LR1 エネルギー



LR2 資源・マテリアル



LR3 敷地外環境



3 広島市の重点項目

重点項目の総平均スコア＝ 3.0

「地球温暖化対策」の推進 スコア＝ 3.3 設計の計画上特段に配慮した事項 BPIm : 0.84 / / / / ノンフロン断熱材の採用 / 可能な限りCO2の排出量を低減	「ヒートアイランド対策」の推進 スコア＝ 1.7 設計の計画上特段に配慮した事項	「長寿命化対策」の推進 スコア＝ 3.3 設計の計画上特段に配慮した事項 空調・給排水管の期待耐用年数40年以上を採用 / ケーブルラック方式とし修繕・更新しやすい設計としている
---	---	---

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)

■ Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)

■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと

■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される